

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公表番号】特表 2018-510729 (P2018-510729A)
 【公表日】平成 30 年 4 月 19 日 (2018.4.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-015
 【出願番号】特願 2017-552957 (P2017-552957)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 1/36 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 1/36 1 4 1

A 6 1 M 1/36 1 4 9

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 27 日 (2019.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

経頸部アクセスデバイスであって：

内部管腔を規定するシース本体を有する動脈アクセスシースであって、総頸動脈内に導入され、前記頸動脈から血流を受け取るように、前記シース本体のサイズおよび形が決められる、動脈アクセスシース；

前記シース本体の近位端に取り付ける細長いチューブであって、コネクタが前記チューブを前記シース本体と接続する、細長いチューブ；

前記細長いチューブの近位端にあるアダプターであって、前記アダプターは血流シャントラインと取り外し可能に接続するのに適合しているハブを有し、前記アダプターは前記経頸部アクセスデバイスの内部管腔に近接して配置されるバルブをさらに有し、前記バルブは前記経頸部アクセスデバイスの前記内部管腔から前記ハブに向かう流量を制御する、アダプター；

前記アダプターの近位端に接続する近位伸長部であって、細長い本体から形成された、近位伸長部；

前記近位伸長部が止血バルブを前記アダプターから離して配置するように、前記近位伸長部の近位端にある止血バルブ；および

前記近位伸長部の近位端に接続し、洗い流すための流体の通路を前記シース本体内に提供する、洗い流しラインを含む、経頸部アクセスデバイス。

【請求項 2】

前記細長いチューブを前記アダプターに接続する前記コネクタ上に位置する小穴をさらに含む、請求項 1 記載の経頸部アクセスデバイス。

【請求項 3】

前記バルブが、前記経頸部アクセスデバイスの前記内部管腔からの血流を可能にする開状態と、前記経頸部アクセスデバイスの前記内部管腔からの血流を遮断する閉状態と、の間を移行する、請求項 1 記載の経頸部アクセスデバイス。

【請求項 4】

前記シース本体の一部を覆い、かつ前記シース本体の一部を露出するように、前記シース本体上に配置できるシースストッパーをさらに含み、前記シースストッパーは、前記頸

動脈内への前記シース本体の挿入を前記シース本体の露出された遠位部分に制限し、フランジは前記シースストッパーの遠位端に配置される、請求項 1 記載の経頸部アクセスデバイス。

【請求項 5】

前記フランジが可膨張性または機械的に拡張可能である、請求項 4 記載の経頸部アクセスデバイス。

【請求項 6】

経頸部アクセスデバイスであって：

内部管腔を規定するシース本体を有する動脈アクセスシースであって、総頸動脈内に導入され、前記頸動脈から血流を受け取るように、前記シース本体のサイズおよび形が決められる、動脈アクセスシース；

前記シース本体の近位端にあるアダプターであって、前記アダプターは血流シャントラインと取り外し可能に接続するのに適合しているハブを有し、前記アダプターは前記経頸部アクセスデバイスの内部管腔に近接して配置されるバルブをさらに有し、前記バルブは前記経頸部アクセスデバイスの前記内部管腔から前記ハブに向かう流量を制御する、アダプター；

前記アダプターの近位端に接続する近位伸長部であって、細長い本体から形成された、近位伸長部；

前記近位伸長部が止血バルブを前記アダプターから離して配置するように、前記近位伸長部の近位端にある止血バルブ；および

前記近位伸長部の近位端に接続し、洗い流すための流体の通路を前記シース本体内に提供する、洗い流しラインを含む、経頸部アクセスデバイス。

【請求項 7】

前記シース本体を前記アダプターに接続する前記コネクター上に位置する小穴をさらに含む、請求項 6 記載の経頸部アクセスデバイス。

【請求項 8】

前記バルブが、前記経頸部アクセスデバイスの前記内部管腔からの血流を可能にする開状態と、前記経頸部アクセスデバイスの前記内部管腔からの血流を遮断する閉状態と、の間を移行する、請求項 6 記載の経頸部アクセスデバイス。

【請求項 9】

前記シース本体の一部を覆い、かつ前記シース本体の一部を露出するように、前記シース本体上に配置できるシースストッパーをさらに含み、前記シースストッパーは、前記頸動脈内への前記シース本体の挿入を前記シース本体の露出された遠位部分に制限し、フランジは前記シースストッパーの遠位端に配置される、請求項 6 記載の経頸部アクセスデバイス。

【請求項 10】

前記アダプターの前記ハブと取り外し可能に接続する血流シャントラインをさらに含み、前記血流シャントライン上に単一のハウジングをさらに含み、前記ハウジングは：

前記血流シャントを通して血流の低流状態と高流状態との間を動かすことのできる血流制御要素；

前記血流シャントを通る血流を可能にする開状態と、前記血流シャントを通る血流を遮断する閉状態と、の間を移行できるバルブ；

流体フィルター；および

一方向チェックバルブを含む、請求項 1 または 6 に記載の経頸部アクセスデバイス。

【請求項 11】

前記血流シャントラインが前記アクセスデバイスからリターンサイトに流量を切り替える、請求項 10 記載のデバイス。